

文字検査装置 CP-One



概要

CP-Oneは
サーマルプリンタ・レーザー印字・ゴム印の、文字の欠け・汚れ・抜けなど誤読につながる欠陥や、
マーク逆・誤印字などを、文字毎に簡単かつ柔軟な設定により検出します。

特徴

- ◆ 結合文字の自動補正機能で検査を可能に。
- ◆ 検査装置内部時計による検査文字列の自動設定
- ◆ 高速処理を実現
- ◆ 画質改善機能搭載

NEW! 装置稼働中の設定変更機能

結合（くっつき）文字の検査！！

複数の文字が結合した場合でも、文字が重なっていなければ1文字ずつ検査できます。

2008.9

補正前

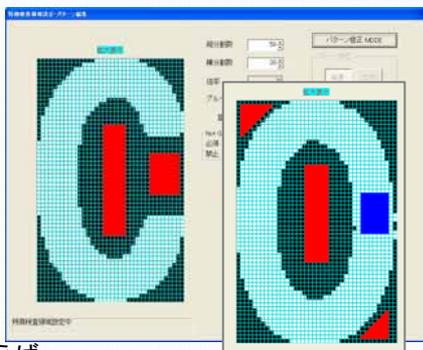
2008.9

補正後

機能紹介

特徴領域の詳細検査

誤読につながるような印字頻出の劣化を検出するために、文字の特定部分について文字の有無を検査します。



例えば...
形状のよく似た【O】と【C】の場合

【O】の右側が欠けると【C】と誤読する恐れが。

特徴的な部分・類似部分に着目し詳細検査を行ないます。

検査レベルの設定

アルファベット・数字、区切り文字(／やー)、漢字(“賞味期限”等)の検査レベルは別設定可能です。
数字のみを厳しく検査する等の使い方が出来ます。

New!

稼働中の調整機能

検査実行中にパラメータ調整を行う機能を追加。

直前の検査結果を確認しながら、主要パラメータの修正が可能に。
製造ラインを止めることなく最適な設定規格に変更し検査を行うことが可能です。

カレンダー自動更新

現在の日時をコントローラ内のカレンダーから取得し、検査文字列を自動更新します。西暦・和暦どちらでもご使用になれます。またお客様のカレンダー規格への対応も行っております。



コントローラ仕様

項目	内容
カメラ接続台数	1~2台
処理分解能	640×512pix
検査時間	0.1sec/個(10文字) (設定により異なります)
2値化方法	自動/手動
判定方法	1文字当たりの高さ・幅・面積計測、パターンマッチング、特徴領域検査
位置補正	①文字列自動検出機能 ②基準画像から印字範囲検出機能 ^{※1}
品種設定数	最大20種類
不良画像記憶数	最大150画面(コントローラ搭載メモリ内)
品種・不良画像保存場所	コントローラ内部、または USB接続記録メディア
集計保存場所	USB接続記録メディア
自動日付更新機能	コントローラ内部時計から照合日付自動更新 (オフセット機能年、月、日)、前後固定文字列設定可能
照度管理	画像濃度レベルによる照度不良検出。照度不良レベルまでの照度変化には自動2値化により対応可能
外部制御信号	DI/O 入出力各8点 (不良信号シフト)
電源電圧・周波数	AC115/230V 50~60Hz
消費電流	5.0A(AC115V時)
周囲温度・湿度	5~40°C(動作時) 15~80% 但し結露無きこと
外形寸法	136(W)×340(D)×329(H) mm

Y.M. ワイエムシステムズ株式会社

〒 600-8815

京都府京都市下京区中堂寺粟田町 93番地

京都リサーチパークSCB 3号館

TEL: 075-315-0771 FAX: 075-315-1770

E-mail: info@ym-systems.co.jp

URL: <http://www.ym-systems.co.jp>

Y.M. SYSTEMS INC. All Right Reserved.
記載事項は改良のため予告無く変更することがあります。
本カタログからの転載・複写は固くお断りします。